

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕	円	〔負債の部〕	円
流 動 資 産	1,543,933,553	流 動 負 債	660,066,814
現金及び預金	31,099,735	買掛金	192,191,246
売掛金	376,611,315	未払金	37,185,736
未収入金	1,127,062	未払費用	235,478,349
貯蔵品	12,169,256	未払法人税等	6,529,600
前払費用	2,164,210	未払消費税等	54,238,100
繰延税金資産	31,925,956	前受収益	37,745,244
預け金	1,086,636,392	預り金	29,588,314
立替金	2,166,527	賞与引当金	67,110,225
その他	33,100		
固 定 資 産	144,202,951	固 定 負 債	329,199,609
有形固定資産	10,945,622	預り保証金	500,000
建物	1,100,988	退職給付引当金	328,699,609
工具器具備品	9,844,634		
無形固定資産	3,868,632		
ソフトウェア	2,579,740	負債合計	989,266,423
電話加入権	1,051,392	〔純資産の部〕	
その他の無形固定資産	237,500	株 主 資 本	698,870,081
投資その他の資産	129,388,697	資 本 金	50,000,000
長期前払費用	332,521	資 本 剰 余 金	20,000,000
差入保証金	370,000	その他資本剰余金	20,000,000
敷金	14,873,370	利 益 剰 余 金	628,870,081
繰延税金資産	113,712,806	利益準備金	12,500,000
その他	480,000	その他利益剰余金	616,370,081
貸倒引当金	△380,000	繰越利益剰余金	616,370,081
		純資産合計	698,870,081
資 産 合 計	1,688,136,504	負債・純資産合計	1,688,136,504

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 最終仕入原価法に基づく原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物

.....定額法

その他.....定率法

(2) 無形固定資産

ソフトウェア(自社利用)・・・社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

その他.....定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当期負担分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、期末日における退職給付債務の額を計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

阪急阪神ホールディングス株式会社を連結親法人とする連結納税制度の適用を受けております。

当期純利益

46,315,141円